

市職員の地域貢献について

古川市長答弁

花田質問：①市は市民協働のまちづくりを提唱しているが、市民からは職員との距離が遠く感じるとの意見もある。職員が地域に出て行き、課題を認識し、地域の方たちとともに政策を考えることはできないか。

答弁：市民からの意見は、市も必要性を認識している。第五次総合計画での地域別計画推進のためには、職員としても地域に入り市民とともにまちづくりを進めていくことが重要であると考えている。様々な場面で職員が地域に出かけるような仕組みの具現化を検討する。

花田要望：職員が地域に出向き、市民とともに市の将来を語り合える間柄の関係を構築してほしい。また、地域のボランティアにも一個人として参加してほしい。

防災への取組について

谷防災・防犯推進室長答弁



花田質問：①総合防災訓練の見直しが必要では。②実践型の災害対策本部運用訓練が必要では。③避難行動要支援者対策について。④被災者用住居の民間賃貸住宅の媒介等に関する協定を結べないか。⑤避難所にL G B T Q等への配慮が必要では。⑥災害モード宣言が前日に出された場合の対応は。⑦気象庁が発表する情報と、市が発令する情報が分かりにくいので対策が必要では。⑧B C Pの取りまとめと連携、見直しが必要では。また、E R Mの実施やリスクオーナーの配置が必要では。⑨防災士資格を取得した市職員の活用状況は。

答弁：①市民のさらなる防災意識の高揚が図られるように訓練するとともに、より効果が期待できる訓練となるよう計画する。②今後は定期的に行い、職員の防災力の向上を図る。③地域での顔の見える関係を構築できるよう、自主防災組織などの訓練支援並びに平時からの地域コミュニティについての重要性を啓発する。④民間事業者との協定について検討していく。⑤L G B T Q等へのどのような配慮が必要か、研究した上で考えていく。⑥市のホームページや防災行政無線等で呼びかける。小・中学校では、翌日の臨時休業も含め検討した上で、通知文の配布や学校メールの配信、学校ホームページの掲載にて保護者に周知する。⑦避難に関する情報や防災気象情報等の防災情報を、5段階の警戒レベルを用いて伝える。状況によっては広報車などにより広報する。また、ヤフー株式会社と協定を締結した。⑧業務継続計画において、連携を意識した中で点検を行い、リスク等をさらに低減させることができないか検討し必要に応じて見直す。⑨職員90名が防災士資格を取得している。研修を行いスキルの向上を図っていき、地域の防災力を高める役割も担うよう努める。

花田要望：地域防災計画は、本市の防災の要である。近年よく聞く想定外という事態にならぬよう、今回質問した事項はもちろんのこと、多岐にわたる項目を精査し、検証し、細かい視点を見逃さぬよう、計画の修正に取り組んでいただきたい。



その他、母子健康手帳について質問しました。

質問によって協定を締結！

☞ 12月議会代表質問「防災への取組について」において、被災者用住居の民間賃貸住宅の媒介等に関する協定を結べないか。と質問しましたところ、大阪府宅地建物取引業協会南大阪支部と、「災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定」が締結されました。

令和元年度 12月議会 代表質問

すべては、
大阪狭山の未来のために。



大阪狭山市議会議員 / 無所属

花田 まさふみ

活動報告 第1号

1971年10月生(48歳)
府立東百舌鳥高等学校、大阪工業技術
専門学校卒、建築士、大阪府被災建築
物応急危険度判定士、防災士
会派「みらい創新」所属 幹事長

御挨拶

2019年4月の大阪狭山市議会議員選挙で、当選させていただきました。

多くの市民活動の経験を生かし、皆様の声を市政へ届けるべく精進し邁進してまいります。

また、現役・子育て世代の代表としてだけでなく、人生の先輩であるご高齢の方々の思いを受けとめ、若者や女性も活躍できる大阪狭山市を目指し粉骨砕身尽力してまいりますので、より一層のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

去年は、平成から令和へと改元され、ラグビーワールドカップでは日本代表が初のベスト8となり、お祝いムードの中年を越しお正月を迎えました。今年は、待ちに待った東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、大阪ではカジノを含む統合型リゾート（IR）、大阪万博などの話題も花盛りです。本市への経済的波及効果や影響も踏まえ、注視していきたいと思います。

現在、本市では第五次大阪狭山市総合計画、第2期教育振興基本計画や行財政改革推進プラン2020の策定が進められ、狭山ニュータウン地区の活性化を推進することを目的とする、狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクトも動き出しました。迫り来る帝塚山学院大学狭山キャンパスと近畿大学病院の移転も本市の重大な課題となっています。

「すべては、大阪狭山の未来のために。」誠実に！熱く！まっすぐに！尽力してまいります。



所属会派・委員会・審議会

○所属会派「みらい創新」幹事長 ○議会運営委員会委員 ○総務文教常任委員会委員 ○予算決算常任委員会委員 ○大阪狭山市の魅力発信及び発展に関する事業等調査特別委員会委員 ○議会広報委員会委員 ○ラブホテル建築規制審議会委員 ○パチンコ遊技場等及びゲームセンター建築規制審議会委員

保育の待機児童について

松本こども政策部長答弁

花田質問：幼児教育の無償化による待機児童数および、潜在的な待機児童数の増減予測は。無償化により施設利用の児童が増加する事への対応策は。

答弁：待機児童数の増減予測は現時点では難しい。本年4月の待機児童は0人だが、保育ニーズの喚起も予想される。様々な要因を勘案しながら、保育の提供体制の整備に努める。

花田要望：新たに施設の設置が必要となった場合、**幼老複合施設を推進**してほしい。

放課後児童会事業などについて

山崎教育部長答弁

花田質問：①放課後児童会の現状と課題は。②今回の教育委員会の機構改革の目的や狙いは。③子どもの居場所づくりをどのように進めていくのか。

答弁：①東放課後児童会にて46名が入会待ちの状態で、新たな教室や支援員の確保も難しい状況。②就学前保育とのスムーズな接続を考え、放課後児童会事業をこども政策部に移管し、民間事業者と連携しやすい環境をつくることで課題解決につなげたい。③子どもの居場所づくり推進事業費補助金制度を創設し、地域で活動されている団体を支援し、子どもの居場所づくりを進める。

花田要望：放課後児童会の安定運営のためにさらなる尽力を。**子どもの居場所が増えるような制度を要望する。**

大阪狭山市立子育て支援・世代間交流センター（愛称 UPっぴ）について

松本こども政策部長答弁

花田質問：子どもの放課後の居場所としての活用ができるように、事業を計画してはどうか。

答弁：世代間交流事業として市民協働による講座を実施。また、夏休みの宿題教室を大学生のボランティア協力のもと実施する予定。今後も世代間交流広場を居場所の一つとして、事業内容を検討し充実させていく。

花田要望：**すべての世代の市民が交流できる環境の提供と、子育て交流広場の土日開館の実現、地域の方々との交流が深められる事業を提案していただきたい。**



令和元年度 6月議会 個人質問



令和元年度 9月議会 個人質問

スマホアプリの活用について

田中政策推進部長答弁

花田質問：①他市では道路や河川、公園で見つけた不具合を、LINEで市民が通報するシステムがある。本市でもそのような取り組みができないか。②市公式フェイスブックを、市民との対話ツールとして活用する事はできないか。③市独自の総合アプリを提供してはどうか。

答弁：①現場写真や位置情報を容易に送信できるというメリットがあり、有効なツールであることは理解している。既に運用されている自治体の事例などを参考に調査・研究する。②提案や意見はメールアドレスを公開し、パブリックコメントやふるさといきいきカードを運用している。③導入には慎重な対応が必要である。

花田要望：「ふるさといきいきカード」はこれまでも大変貢献されてきた名称ではあるが、市への意見、提案ができるという事がわかるものに変更されてはどうか。

いじめを早期発見する取組について

酒匂教育部理事答弁

花田質問：いじめの相談窓口は、多くのチャンネルを設定することで早期発見に繋がると考える。一方、児童・生徒及びその保護者が相談をすることが難しいと感じる場合がある。いじめを匿名で報告、相談できるスマホアプリを導入できないか。

答弁：市の相談窓口相談しにくい場合は、府の窓口を利用されることもある。スマホアプリを導入する予定はないが、情報収集をしていく。

花田要望：市が設置した、いじめ問題対策委員会に**直接相談できるような仕組みをつくっていただきたい。**

各種届出手続き等の遺族支援について

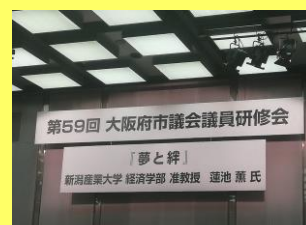
山田市民生活部長答弁

花田質問：遺族のために、各種届け出等で支援できないか。

答弁：「死亡届出後の諸手続きについて」という案内をお渡ししている。主な窓口を1階に配置し、フロアマネジャーが窓口の場所をご案内するなどのサポートを行っている。

花田要望：遺族が各グループの窓口を訪れる前に、**氏名などが印字された申請書を用意する**など、市民サービスの向上を。

その他、先般の大雨の対応とこれからの対策について質問しました。



●プロフィール

花田全史(はなだ まさふみ) 1971年10月生まれ(48歳)
府立東百舌鳥高等学校、大阪工業技術専門学校 卒業
建築士、大阪府被災建築物応急危険度判定士、防災士
会派「みらい創新」所属 幹事長

●情報発信

Facebook 花田まさふみ事務所 @HanadaMasafumi
Facebook 花田まさふみ @MasafumiHanada1971
Twitter 花田まさふみ @H_Masafumi
HP <http://hanada-sayama.wixsite.com/home>



●お気軽にどうぞ！

日頃の困りごと、市政への疑問や不満など、なんでもご相談ください。
電話 072-368-1153 Eメール hanada@osaka.nifty.jp
〒589-0002 東野中2丁目1056-12
発行元：大阪狭山市議会議員 花田全史 / 企画・編集・デザイン：花田全史